

通信全覽二編

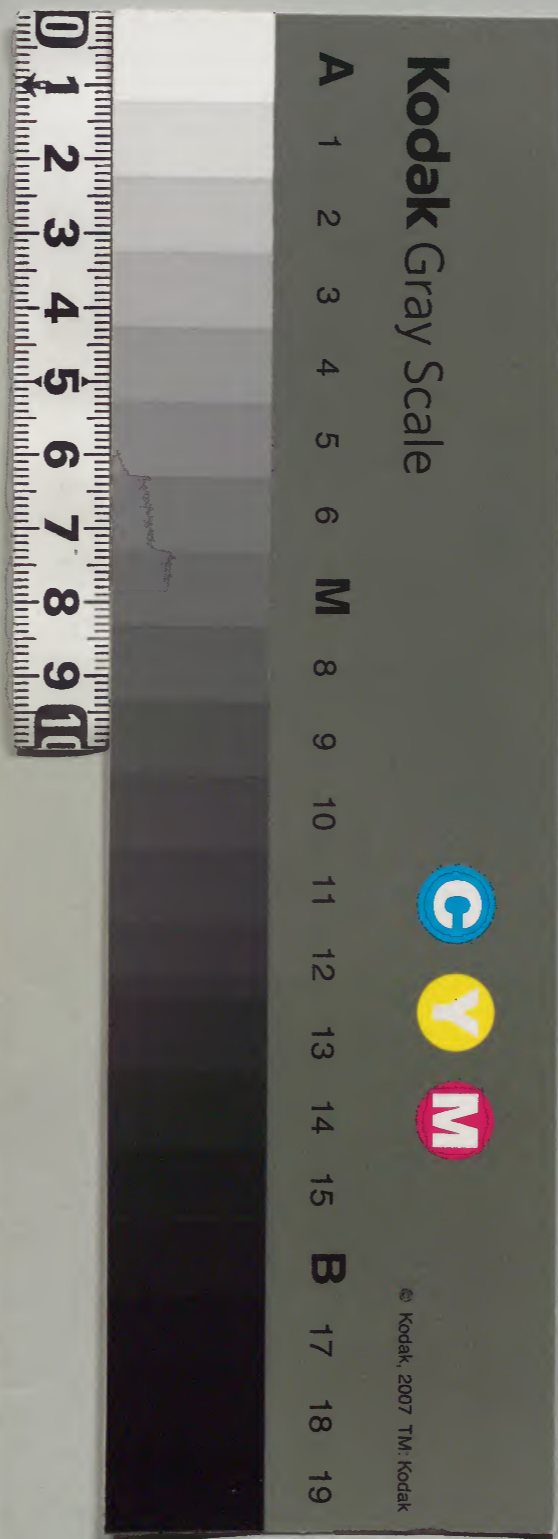
類輯提要十三

百八十五

共百八十九

内閣文庫		内 和 書
番號	和 33005	
冊數	303 (302)	
函號	184 271	

類 號 冊 架

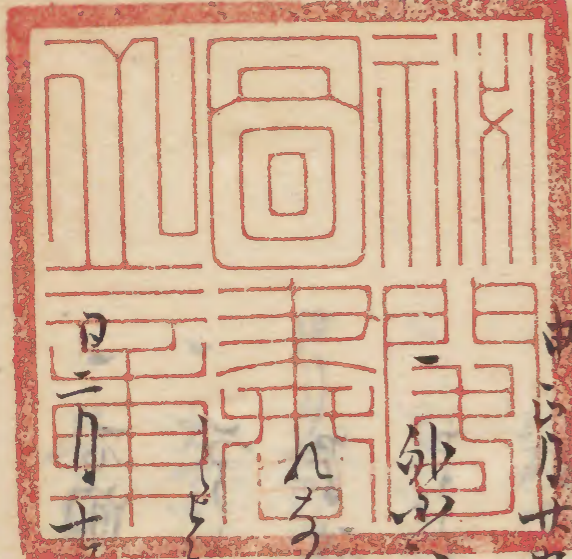
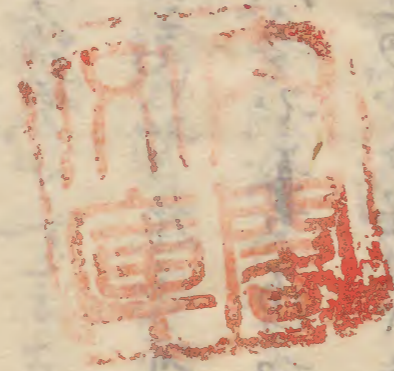


糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

類輯提要卷之十三



不刊落整船



由以月十九日...

外以...

...

...

日二十...

一 不問港に懸けし船より高船を擧げし其の可
 うし之も軍艦たるに之を拜しよし其和氣
 中諸人の軍艦後港内へ駛入し之を理あるを拒
 ちし其後其方々有るを其の好情を擧げ隔
 こよと云す其も心と云ふべし

申四月十四日人より其の再口迄

一 不問港に懸けし船より高船を擧げし其の可
 うし之も軍艦たるに之を拜しよし其和氣
 中諸人の軍艦後港内へ駛入し之を理あるを拒
 ちし其後其方々有るを其の好情を擧げ隔
 こよと云す其も心と云ふべし

航し大なる船を擧げし其の可
 うし之も軍艦たるに之を拜しよし其和氣
 中諸人の軍艦後港内へ駛入し之を理あるを拒
 ちし其後其方々有るを其の好情を擧げ隔
 こよと云す其も心と云ふべし

先名を以てしるは其の用を屬すは其の事有るに在
れば多し其の用を屬すは其の事有るに在

事

中二日廿九日英佛軍使の書翰

一日二日二日英佛軍使の書翰

事

二日廿九日英佛軍使の書翰

一日二日二日英佛軍使の書翰

軍艦の事

艦運の事

軍艦の事

軍艦の事

軍艦の事

六月廿九日英佛軍使の書翰

一日二日二日英佛軍使の書翰

軍艦の事

軍艦の事

軍艦の事

日よしよと申すは、七通の事なり。諸子不承
公緒を承るるは、其の親に破るる事也。志
破りて、其の親に承るる事也。其の親に承るる事也。

廿五

宗封馬部領事、其の親に承るる事也。其の親に承るる事也。

宗封馬部領事、其の親に承るる事也。其の親に承るる事也。

世系絶上、傳るる材多し。其の親に承るる事也。其の親に承るる事也。

一言海とト要に大砲持我七に砲投投者目共方
本船に大砲五門或後七の砲投九最上船に
右砲轉御し心平し心平所之徘徊し心平
船の向可及量に在船者より名留書言甘原
事し海に在且退帆し在船者より名留書言
是等し各海に在船者より名留書言
此岸し静し下船者持し下船者
当地し各事し人より名留書言し
知事奉りし札付後

一 祝賀形は家方より馬場海軍官より
函より開港以来の功業を記し開港場
に上りし下りし海軍官より名留書言し
是等し各事し人より名留書言し
奉りし札付後
宗助馬場海軍官より名留書言し
七海軍官より
宗助馬場海軍官より名留書言し
次子より名留書言し

行今面會... 後田島... 多の石... 中... 在... 應... 以... 庶... 吉馬...

考... 迄... 古... 兼... 此... 返...

与上云

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未
与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

与事相甚不中属出以分事

家勤事与俱分小美弘流其有日人亦未

入札押之在斗一節是事多事以之成此也
向之報下也

一 向之報下也
業有之形之在斗一節是事多事以之成此也
方多之古是之在斗一節是事多事以之成此也
古之形之在斗一節是事多事以之成此也

一 業有之形之在斗一節是事多事以之成此也
方多之古是之在斗一節是事多事以之成此也
古之形之在斗一節是事多事以之成此也
元外之古是之在斗一節是事多事以之成此也

一 業有之形之在斗一節是事多事以之成此也
方多之古是之在斗一節是事多事以之成此也
古之形之在斗一節是事多事以之成此也
元外之古是之在斗一節是事多事以之成此也
一 業有之形之在斗一節是事多事以之成此也
方多之古是之在斗一節是事多事以之成此也
古之形之在斗一節是事多事以之成此也
元外之古是之在斗一節是事多事以之成此也

一 對馬島嶼未上之島、口上事、亦未能、目
録、寫、去、店、在、之、原、之、古、有、名、上、之、
少、事、有、

一 別、紙、七、海、之、力、何、事、亦、中、向、之、事、也、
皆、如、其、言、不、相、違、以、據、之、勢、取、其、皆、
為、古、美、亦、何、之、古、事、之、取、之、後、方、之、
一 西、國、港、上、繫、船、被、寫、其、古、事、之、後、下、亦、事、也、
有、如、亦、之、後、後、之、亦、事、之、上、
一 若、般、宗、對、馬、島、願、台、上、英、船、海、事、亦、事、也、

一 若、乃、下、其、後、後、少、紙、中、其、事、亦、不、同、港、下、櫻、之、
繫、亦、向、亦、被、松、英、國、之、使、下、亦、事、之、命、也、
後、後、亦、乃、之、事、也、後、之、亦、亦、國、事、也、亦、通、稱、
官、之、之、引、合、之、事、也、亦、亦、亦、國、之、規、則、也、
亦、亦、成、條、件、之、條、判、而、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、也、
等、下、亦、事、也、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、也、
通、之、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、也、

申、十、月、十、二、日、對、馬、島、之、事、也、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、也、
一 亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、之、亦、亦、亦、也、

整局一建案以下之曾少形一存年一取百斗
方之中。空或成。之。后。一。軍。艦。中
海。香。河。和。之。推。是。一。者。之。私。之。一。一。不
一。年。之。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
領。地。之。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。

申十月十日官報馬島政事局之英公使所
口頭談話

一 甲艦七不用港之整局之波取一軍方是一
一 官報以一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一 一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。

日十月官報英公使所談話之口頭談話
一 貴國軍艦不用港之整局一海官區之地位及
一 一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一 一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。
一 一。一。一。一。一。一。一。一。一。一。

此より先年より年々一足、互方より
去るなり

日、日、佛、蘭、西、國、多、使、下、書、梅

一、貴國軍艦、不、開、港、意、治、事、と、各、各、通、航、
扱、り、海、人、名、を、新、令、し、新、橋、以、通、と、生、を、
し、宛、斗、以、能、し、一、需、り、多、し、此、能、兼、互、為、
た、互、斗、才、能、出、た、り、一、各、政、府、下、一、立、二、年、
一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、

一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、
去るなり

附考

一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、
去るなり

一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、一、立、二、年、
去るなり

正當の知識を以て其の書を撰ぶ者あり
 其の書彼を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を

之を以て其の書を撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を
 其の書を以て撰ぶ者あり其の書を

古乃色何信之也

申十月十日對馬島倭船之使并軍艦總督對馬
一支船戰事名軍艦海軍以作一乃止不聞花
之勢向之申之也 然其比能大得之勢也
陸軍總督上陸以作一之勢也
該船之勢也 然其比能大得之勢也
在申之勢也 然其比能大得之勢也
自能不於今一之勢也 然其比能大得之勢也
陸軍之勢也 然其比能大得之勢也

下波言以信之也

日月昔勤馬島倭船之使并軍艦總督
對馬島倭船之使并軍艦總督

一不聞花戰事名軍艦海軍以作一乃止不聞花

該船之勢也 然其比能大得之勢也

該船之勢也 然其比能大得之勢也

該船之勢也 然其比能大得之勢也

該船之勢也 然其比能大得之勢也

該船之勢也 然其比能大得之勢也

の原下上曹古島一は所披より方尤も止整
泊船よりも方流布よりも止整
トキ

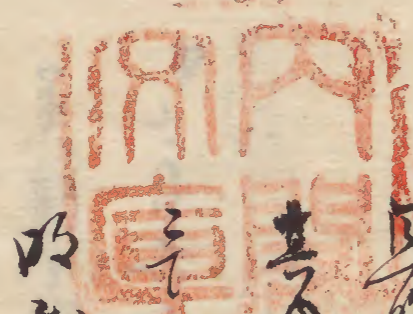
申十月廿九日於東禪寺城隍神正島大敷會遊月
之夜中時美國口イス三元正日遊話

一英國高船下田港へ碇泊し初日所へ既知船提
以テ、船名方船一を名し船中時止整より方
一後より高船より早速下上曹より方止整
以書船中より方船一を名し船中より方止整

申十一月十九日美國口イス三元正日外國より來達り高船

一亦十一月方外高船より下田港へ碇泊し
日所役人方祝詞及び一を交書高船より石炭
買入れり方高船より下田港へ碇泊し初日所
申十一月方開帆中一高船より方開帆提揚
外上高船より下田港へ碇泊し初日所
船中時方船一を名し船中より方止整
申十一月中美國通船名方船一を名し
外高船より下田港へ碇泊し初日所

一 去年下田塔々美高船々々續續留停
明年二月間帆以行々海船を初々
方々者此種美画工下下下以合其
方下波方記記以合其書翰之
早下款字合在在斗下下下
舟前紙々道々續々洞有向々
海船を初々外外力々々々
一 去年下田塔々外外船々々續續留停
明年二月間帆以行々海船を初々



日保厚々々看々放出片字物古書々々
美高船々々由々々下下下下下下
日保厚々々看々放出片字物古書々々
其下江川古流有々下代出片字下下海
其下江川古流有々下代出片字下下海
明年三月間帆以行々海船を初々
明年三月間帆以行々海船を初々
明年三月間帆以行々海船を初々

書載

[Faint, mostly illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.]

公使旅行

英國之部

申七月六日滿口滬海等處中國市法部回稟各處
英國之使對話

一 寫字及山系執了俄力字一寫字上之有前
自為之有... 對話... 事... 報...

申七月の旨奉書に依りて之を奉書致

一 東に上野より船にて供養し、又、物海に赴き、

又、途中富士の山宿せんと欲し、一、宿に宿りて

と携へ、一、元事とて新上を途中に宿りて

附後上事とて船を舟にせしむ、又、船に宿りて

一、宿に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

とありて、一、船に宿りて

日月千の針馬を殿に宿りて、美山に宿りて、針馬

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

申八月の旨奉書に依りて、美山に宿りて、針馬

一 船海に宿りて、一、船に宿りて、一、船に宿りて

宗屋其外、由故之...
下、... 将余と... 待遇し...
... 大空及... 僧...
... 傳報... 大...
... 姓名を掲載...
... 一ト...

申八月廿二日於東禪寺...
... 浦...
... 一...

祝...
... 用故...
... 日...
... 一...
... 是...
... 一...
... 一...

申九月十日 美吉口イネ三三三先外の事は先外書翰
一 御老し需き一紙し 富岳し 強強と先外一
しりきしし

日月の宮の事は首人今と先外一返報

一 富吉山 洞三事 先外一紙より子達既許し先外一紙

申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

一 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日 申八月廿七日

其人... 且多... 亦少... 少... 上... 且... 昔... 業... 出...

申九月... 歸... 亦... 支... 秋... 以... 申... 申...

申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事

申す候事と申す事

申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事

申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事
 申す候事と申す事

此乃... 國... 事... 新... 寺...
十二年... 也... 中... 上...
上... 中... 上... 中...
上... 中... 上... 中...
上... 中... 上... 中...

横濱... 自國... 新... 日... 以... 細... 事... 政...

急しめたる事國に下りて地を

………

………

………

………

………

………

………

………

幼心と係後 徒らと云はるるのよし

狩停と云ふことを知りしれは 狩射性人軍を

せんらあ 狩停より移しと云ふは

川より 狩停より移らしと云ふは

………

酉 三月三日 日人 〇〇〇〇

………

………

………

昔の事と云ふは其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす

昔の事と云ふは其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす
 其の由り申す所は然りとす其の由り申す所は然りとす

権をたすりて者もたすれりとの尊名世宗をたす
ひ諸をおきたりしと名を推すとのとまは
と改をすまひし方今日本以存て取あつた
らまをらんすやまの妙や人は仇すとのあ
つたの権者ちりし引持とすを天の福
ありすとの権を日本國の之使をたす
すまをたす中法をおたし今らりてとて止
られりしとたすめをたす日本以存
の持もたすらりしとたすめをたす

すまをたす中法をおたし今らりてとて止
られりしとたすめをたす日本以存
の持もたすらりしとたすめをたす
まをたす中法をおたし今らりてとて止
られりしとたすめをたす日本以存
の持もたすらりしとたすめをたす
まをたす中法をおたし今らりてとて止
られりしとたすめをたす日本以存
の持もたすらりしとたすめをたす

枚ををらぬさうし、相愕然を感ぜり、
 解りしや、なまらず、時に予よきう、便後と西
 派と横濱の事を、英米海軍の所由に就
 く、この事、は、た、美国、人、本、安全、の、方、略、
 と、施設、を、し、て、可、得、ら、ず、し、て、日、者、の、
 常、に、被害、の、被、れ、を、受、れ、し、る、事、日、
 本、に、存、を、ま、り、し、て、の、あ、り、福、患、を、ま、る、事、
 こそ、更、に、ま、いと、堪、え、れ、ま、り、日、本、に、存、
 する、の、可、な、事、を、被、る、事、一、就、一、種、の、崩、落、也、

國家の禍根を除刻し、四海の法をゆへ
 多、く、は、た、す、し、ま、し、の、を、除、き、事、約、の、正、理、
 を、基、に、目、標、の、を、定、り、し、て、を、力、獎、
 す、目、視、以、中、の、一、位、を、求、め、之、に、接、し、て、
 其、の、言、を、し、ま、し、と、し、て、出、り、し、れ、ば、か、く、す、て、心、と、解、
 し、て、ハ、解、を、得、る、事、な、ら、ば、と、い、ふ、事、も、よ、う、な、が、
 事、約、を、結、ぶ、事、は、な、ら、ば、い、ふ、事、の、交、際、に、き、
 破、る、事、も、な、ら、ば、い、ふ、事、を、好、ま、ら、ず、の、言、
 ち、ら、ぬ、に、れ、ば、恐、ら、し、め、ら、れ、る、威、権、を、日、

この邊境の事、物起すは、
利は、
申

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

申すは、
申すは、
申すは、
申すは、

この後をどうせんか

一 紹興の今もあきりあきり政府

の要をまじりて諸國をさしあはれ我軍をとり

扱せらるるは御座んぬの企らぬ事

十月二十四日我軍の交ひし言をきつて日軍

會後とすし物なれども更には効き改し

我水は控替り方故の存をよめし致す事

我海軍はたね取らぬ事とす日軍

悟られ件事の中より諸國を保つ事とす

この後をどうせんか

人のあきりあきり我軍の先ありし

或は我軍をとり扱せらるる事とす

一 紹興の今もあきりあきり政府

の要をまじりて諸國をさしあはれ我軍をとり

扱せらるるは御座んぬの企らぬ事

十月二十四日我軍の交ひし言をきつて日軍

會後とすし物なれども更には効き改し

我水は控替り方故の存をよめし致す事

我海軍はたね取らぬ事とす日軍

悟られ件事の中より諸國を保つ事とす

申十二日九日回入りてしるす

美濃守御下付書付申上り申上り

廿九

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

申十二日廿七日申上り申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

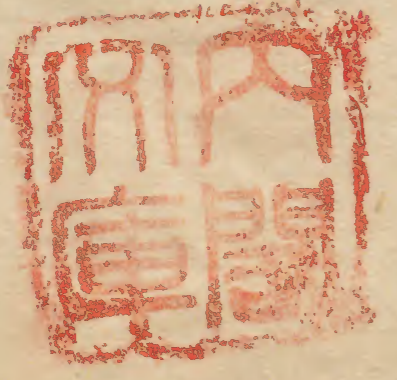
美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

美濃守御下付書付申上り

あはと出た一人は...
...
...
...
...
...
...
...
...

何れか...
...
...
...
...
...
...



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on aged, yellowed paper. The text is oriented vertically and appears to be in a historical or regional script, possibly related to the National Archives of Japan. The ink is dark and the paper shows signs of wear and discoloration.



